阿知須町広報
阿知須町役場発行
山口県吉敷郡
阿知須町
発行人　乗定好太郎
編集人　大濱　武明
印刷所
宇部市東区藤松町五
山口日日出版局
1725

五月町協議會模樣

五月二十三日午前九時半開会された町協議会は、さきに繰上げ当選となつた小林京一議員の初登場を迎えた全議員出席のもと❶二十八年度町民税率の公表❷岩倉駅設置などの議案が慎重協議され正午散会したが、さすが地元区民の関心も高く三十数名の傍聴者がギツシリと議場につめより発言する議員の一言一句も聴き洩すまじと終始熱心な耳を傾けた。

一、二十八年度町民税々率の公表について

四月十三日開会の町議会で決議された二十八年度町民税々率は、その後未発表に終つていたが、（五月号町広報では税額のみを発表）今回改めて公表することとなつた。即ち今年の町民税おもな改正点は

❶町民税々率改正について

イ、法人の均等割を従来の一、二〇〇円から二千円に引上げた。

ロ、個人所得割の現行単純累進を超過累進課税に改め税額の較差を最少限度に縮めた。例えば年間所得額一七万六千円と一七万七千円の人を単純、超過で比較してみると

◇単純累進課税の場合では
一七万六千円…税額一〇七三六円
一七万七千円…税額一〇九七〇円
でその差は二三八円となるが、

◇超過累進課税では
一七万六千円…一〇、四一〇円
一七万七千円…一〇、五〇五円
でその差額が九五円となる

❷給与所得者には五パーセントの勤労控除をする。

岩倉驛の開設許可
店びらきは八月下旬頃か

二、岩倉駅設置問題について

昨春地元区民熱望の岩倉駅復活問題に対して瀬来町ではこの要望に応え嘆願申請し、一年有余にわたる猛烈な実現運動展開の結果、今回遂にその労苦は報いられ設置許可されるはこびとなつたが、新設に際しての費用は金額（六十七万円）請願者負担となるので乗定町長は現在までの経過を縷々報告ののち採決を諮つたところ、二、三議員から今日まで並々ならぬ努力を続けてこられた乗定町長に対しては全く頭が下るが設置費六十七万円は町民税の約一割にも相当する金額であり、これを予算化するには設置の是非を慎重に検討せねばならぬと設置理由（通勤、通学、一般ならびに干拓入植予定、住宅街、観光地）利用者数、商業振興及び町発展に及ぼす影響など詳細に渉つて質疑したが、終に採否の結論に至らず総務委員会付託として地元代表者数名も交えて研究協議することになつたが二回にわたる委員会で討議の結果、次の条件のもと元役場所跡に設置することを内定し近く本会議に提出、承認を得る予定。

◎町負担額
ホーム建設費（全長八十米）　三五万円
電気工事費　一〇万円
アス購入代　一万四五〇円
計四六万四五〇円

◎地元部落負担額
アス積下し人夫賃（労力負担）
土地買収費　実費金額

なお国鉄当局よりの正式認可は四月二十七日付で店びらきは八月下旬の見込となる模様。

28年度町民税課税額一覧表
（税額は扶養者なき場合）

課税所得金額	税額	課税所得金額	税額
10,000円	480円	270,000円	20,300円
20,000	950	280,000	21,600
30,000	1,440	290,000	22,800
40,000	1,920	300,000	24,050
50,000	2,400	310,000	25,100
60,000	2,890	320,000	26,600
70,000	3,380	330,000	28,000
80,000	3,880	340,000	29,400
90,000	4,430	350,000	31,000
100,000	4,980	360,000	32,200
110,000	5,580	370,000	33,500
120,000	6,180	380,000	34,800
130,000	6,780	390,000	35,900
140,000	7,430	400,000	37,000
150,000	8,130	410,000	38,100
160,000	8,930	420,000	39,100
170,000	9,880	430,000	40,100
180,000	10,830	440,000	41,100
190,000	11,800	450,000	42,400
200,000	12,800	460,000	43,400
210,000	13,800	470,000	44,400
220,000	14,800	480,000	45,600
230,000	15,800	490,000	46,600
240,000	16,900	500,000	47,600
250,000	17,900	510,000	48,600
260,000	19,000	520,000	49,600

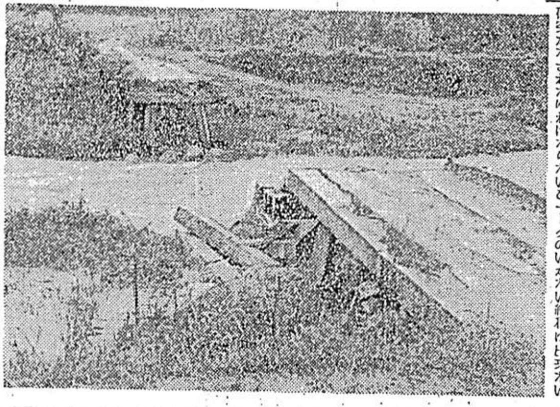
（備考）五十二万円以上は課税所得の一割に相当する金額より二千円を減じた額とする。

舊土路石ばしなど流失
豪雨被害350万圓に達す

三日夜から降り出した豪雨は八日までぶつつゞけに全く足もあげず降り続き、その雨量は実に三〇〇粍に達し県下各地に相当な被害が続出しているが、本町でもせつかく刈取つた麦や菜種が山をなして流失したほか橋梁の流失、山崩れ、家屋浸水、田畑冠水と三五〇万円に及ぶ莫大な損害を蒙つた、町では早速水防対策本部を設け復旧作業に日夜懸命な努力を続けているが、八日現在までに判明した豪雨被害状況は次の通り

橋梁流失　二カ所
田畑冠水　二〇〇町歩
堤防亀裂　三〇〇米
道路損壊　一五カ所
水路堤防破損　一カ所
山崩れ　二カ所
農地流失及び埋没　一町五反歩

（写真は旧土路石ばしの流失）



不具者400圓扶養500圓の控除

本町町民税課税については年々研究が重ねられ適正合理化へ一歩々々前進していると思われるが、本年の課税方法も決して満足すべきものでなく今後とも一層の努力と研究がなされなければならないことが痛感せられる。二十七年度町税の納税成績は町民各位の深い御理解と御努力によつて九九%という県下でも誇るべき成績を納めたが、誰にしてもナツトクのいかない納税は出来ない。今年の課税法にも納税者の皆さんに疑問を抱かれる点があるかも知れないので次に二、三例を挙げて説明しよう。

問一　不具者に対する控除は？

答　不具者が扶養親族である場合は四百円の不具者控除の外に五百円の扶養控除が合せて控除されます。但し不具者の方に二万円以上の所得があれば扶養控除分は認められません。また所得が十万円以上ある不具者の方の不具者控除も認められません。

問二　家族内に医療費を要する病人がある場合、控除されないか

答　正当な支出領収書があれば勿論のこと、また本人の生活状況により町会で認めれば控除されます。

問三　寡婦は町民税が免除されるか。

答　寡婦に対しては原則として町民税は免除されますが、満十八才以上の子女がある場合、または前年中の所得が十万円以上ある場合は課税されます。なお子女を養育していない寡婦は税法に基く寡婦としての取扱いはできません。

御協力ありがとう!!
日赤募金　六万三千圓
引揚援護　一万四千圓　完納

目標額六万三千円の"白い羽根"日赤募金と一万三千五百円の引揚援護募金を完遂するため町では五月一日からはじまり三十一日までの募金期間中に戸別、大口、興行といろいろの方法により運動を展開した結果、町民各位の深い御理解と御協力のお蔭で無事目標額を達成することが出来、六月二日県連関係方面へ完納致しました。即ち戸別募金では一世帯三十五円以上の寄附により五万六千円の実績を挙げ、興行（映画会）で約一万五千円、大口募金では町内法人事業所の十六団体から五千五百円の寄附を仰ぎました。

大口募金、戸別募金（部落別）の実績を町民の皆さんへ次の通り報告し並々ならぬ御努力に対して心から感謝の意を表します。

◎大口募金（カツコ内は代表者）

五百円　太平酒造場（国重響兵衛）　農業協同組合（福岡友仁）　漁業協同組合（工藤一之進）　阿知須石材KK（柏谷文平）　株式会社山本組（山本忠男）　山銀阿知須支店（松崎良助）　阿知須建設KK（山内克己）

三百円　吉南金庫阿知須支店（河村菊雄）　延仁工業KK（入江健一）

二百円　阿知須協同漬物有限会社（松崎敬一）　阿知須木工会社（中本治助）　経済連阿知須出張所（竹石常夫）　食用蛙協同組合（河野良隆）　恵比須製材会社（河村与一）　阿知須穀物会社（藤村三郎）　防長グリースKK（武永典彦）

◎戸別募金

部落	目標額	実績	%
小東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小西	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北祝	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南祝	[illegible]	[illegible]	[illegible]
恵比須	[illegible]	[illegible]	[illegible]
築地	2,100	[illegible]	[illegible]
東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
細田南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
細田北	[illegible]	[illegible]	100
中村	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西条	[illegible]	[illegible]	100
寺河内	[illegible]	[illegible]	[illegible]
浜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
砂一	2,100	[illegible]	[illegible]
砂二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
砂三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
飛石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩西	[illegible]	[illegible]	100
岩前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩西前	[illegible]	[illegible]	100
岩辻	[illegible]	[illegible]	100
岩上	[illegible]	[illegible]	100
且東	[illegible]	[illegible]	100
且西	[illegible]	[illegible]	100
且北	[illegible]	[illegible]	100
且門松	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岡八王子	[illegible]	[illegible]	100
浜表	[illegible]	[illegible]	[illegible]
赤迫	[illegible]	[illegible]	[illegible]
井関	[illegible]	[illegible]	100
野口	[illegible]	[illegible]	[illegible]
杖川	[illegible]	[illegible]	100
河内	[illegible]	[illegible]	[illegible]
源河	[illegible]	[illegible]	[illegible]
向井関	[illegible]	[illegible]	100
引野	[illegible]	[illegible]	100
仙在	[illegible]	[illegible]	100
背畑	[illegible]	[illegible]	100

トピックス

☆乗定町長は地域給引上（三級地）運動のため久賀吉佐地方事務所長をはじめ管内町村長一行と共に二日上京。

☆五月十日の母の日に因んで阿知須学生会では町公民館で"学生とその母の会"を開き、映画「明るい家庭生活」観賞ののち山大坂田教授、山本教育長の講演につゞき座談会にうつり、お母さん達も昔の女学生に立ち返つた気持で楽しかつた過去を語り、学生達も母への感謝にみちながらあまえた注文も飛び出すなど和かな想にも想談ある一日を終えた。

☆町では二十万円の予算範囲で排水設備の悪い砂合部落の道路に側溝を設置することになり目下設計中だが、竣工見込は今月中旬ごろで労役は主として部落民の勤労奉仕によることとなつている。

☆空閑地を利用し校園、児童悩みの荒原を処理して土地を肥やし美しい花壇を造り、栽培したキレイな花は役場、駅、学校などに献上し、綺麗な町造りに率先垂範しようと正に一石五鳥を狙つた連合青年団では阿小校北側（御米橋附近）の荒地約五十坪を借受けることになり、この程渡辺商業部長指導の下に十数名の男女団員が参加し期待のち菊の苗三百本を植付け、PTAならびに関係者間に大変喜ばれているが、やがて稔りの秋の訪れと共に香り高い菊花がガーデンブリツジを形成し、またステーション、集会所、学校などの要所々々で我々の目を楽しませてくれることだろう。

☆二十七年度本町産米供出成績は郡内切つての優秀さを誇り既報に及んだが今回県下でも他市町村の範たりとして、このほど山口県知事から金一封を添え表彰状が授与された。

☆本町の人権擁護委員として五月十一日付で法務大臣から且区伊東隆一氏に対し委嘱発令があつた。人権ようご委員とは我々の身辺に人権をじゆうりんするような行為があつたときは直ちに委員に連絡すれば我々のために有利に働いてくれる人で今後とも大いにその利用方がのぞまれる。（写真は母の会）

組合長に福岡氏再選
農協第五回定期総会ひらく

組合員約一、〇〇〇名をようする農業協同組合では五月九日同組合階上で第五回定期総会を開催、廿七年度決算報告、廿八年度事業計画審議ののち任期満了の役員を改選、また二十一日初の理事会を開き、組合長、常務理事を互選の結果、組合長に福岡友仁、常務理事には伊藤隆一の両氏が何れも再任と決定。なお選出された新役員の顔ぶれは次の通り

理事　福岡友仁（浜表）　西村正夫（井関）　河村金作（鴨生原）　伊東隆一（且）　福永謙一（浜）　長井良治（河内）　上野弘之（岩倉）　福永辰治（且）　上重止一（岩倉）　村田幹雄（背畑）　福永甚助（引野）　山根和太雄（杖川）

監事　福永光治（野口）　田中元男（且）　工藤勉治（西条）

街の人気者
キツネ君に黒山

最近街の話題として一匹の可愛い子ギツネが出現し人気の焦点となつている。

これは約一カ月前の五月はじめ砂合菜氏が町内塩田山中（浜の奥）にある小池で食用蛙を釣つていると突然後方で「ギヤアギヤア」と狐の吠える声にビツクリ。振り向いてみると母親らしい狐が子狐を呼んでいるようにこちらを向いて立つていたが、ヒヨイと同氏の足もとに生後一カ月位の可愛い子狐（メス）がしきりに餌を探していたのでソツと手を出し捕えて帰り阜迎東区の池本氏へ差上げた。池本さんではこの珍客を全く家族同様に可愛がり、毎日牛肉その他栄養百パーセントの御馳走を与え、子狐何不自由なく元気で愉快な毎日を送つているが、同家の前には生れてはじめて見る子供達が珍らしい人気者を見んものと毎日黒だかりとなつて賑わつている。（写真は池本さんに抱かれたキツネ君）

「泥棒は一かるい、火事は根こそぎ」とは昔からよく使われる言葉だが一瞬にして全財産を灰じんに帰し時には尊い人命まで奪い取る火事は我々の平和な生活をおびやかす恐るべき敵である▲近年緊々の火災発生に対処して本町でも消防組織の拡充強化を図るため積極的な施策が講ぜられつゝある▲一般町民もまた防火に対する認識が一段と高められ、あちこちに無数の防火用水が町費補助のもとに [illegible] 用水池にボーフラがわき、やがて成長した蚊がブンブンうるさく飛び廻り、いたずらに人体を攻撃し [illegible] 一刻も早く実行にうつし住みよく安心して寝せる町にしたいものである。

優良乳牛10頭を導入

山口たくあんをはじめとし西瓜、煙草など多部にわたる特産品を有し然もこれ等の産物はすべて優秀を誇り県下は勿論、上は京阪神、東京方面、南は九州のはてに至るまでその名は響きわたつている本町農業界では更に新興な前進の歩みを続け又もや新分野をきり開くため今回北海道から乳牛十頭の導入を試みた。このテストケースとして導入した乳牛は何れも仔牛で長い旅に揺れながら五月二十二日無事本町に到着、直ちに飼育希望者に割当てられ、その後入念な飼育管理のもとに順調な成育をみせているが、一頭平均価額は十万円といつたところ。やがて成長した乳牛からは牛乳が滴り町がうるおい、本格的な酪農体制に入るのもそう遠くはあるまい。なお第二次計画として九月上旬やはり十頭の乳牛が導入される運びとなつているので希望者は農協又は町役場産業係へ申込みのこと。また第一回導入の乳牛購入者名は次の通り

仙在（大田一雄、磯部安一、中戸剛、山本第一）、丑北（伊藤敏雄、山野新一、山根茂一、坂井為之進）、北祝（井上伍一）、浜（正司金蔵）

写眞は元氣で到着した乳牛の群

計畫を樹てゝ使おう大事な時間

"時の記念日"行事いろく

六月十日の時の記念日に因んで町教育委員会及び連合青年団では共催で、今後における新生運動の根幹をなす"時間"の観念を強調するため、まず指導の立場にあるものからと各種団体の幹部を集め"我々の生活と時間の合理化"について座談会を六月十日午後八時半から町公民館で開く。また一方阿連青では一般への啓蒙運動として一般から標語を募集、七日応募数三十五点を厳正審査の結果、次の入賞を決定しそれぞれ賞金を贈つた。なおこの入賞標語を基礎として十日の当日"かもめ号"で街頭宣伝を展開。

【入選一席＝賞金三百円】
計画を樹てて使おう大事な時間　天野花成（細田区）

【同二席＝賞金二百円】
会合に行くも招くも捨てよう掛け値　大浜寿子（寺河内）

【同三席＝賞金百円】
会合は汽車乗る気持できつちりと　岡野康子（学園）

▽佳作（記念品）
時間ちぢめて生活延ばせ　大浜幸子（西条）
集会は口数いうより時守れ　磯中操（西条）
余裕ある時間つくるが生活改善　山野君代（河内）
阿知須時間なくして栄えるわが郷土　田辺勝（岩倉）
時間励行、笑顔の集会　工藤大一（寺河内）

毛糸刺繍第一回早縫競技会

一等賞は又野嬢

町公民館刺繍科では五月十七日午前九時から同公民館で第一回早縫競技会を開催した。この日参加した選手は約二十名、会場をうずめた観衆に見まもられながら「用意始め」の合図で選手一同興えられたサンプルから目も離さず顔も充血し全く目にもとまらぬ早さで針が動かされ見る見るうちに綺麗な作品が出来上つた。審査は時間、間違いの有無、製品の良悪（美）など綜合的に行われ、厳選の結果次の諸氏が入賞し山本教育長から栄えの賞状ならびに賞品が授与された。

一等　又野ツヤ子（砂合）一時間三分
二等　細田奥代子（細田）一・一四
三等　坂野文子（南祝）一・二〇
三等　岩井才留（砂合）一・二一

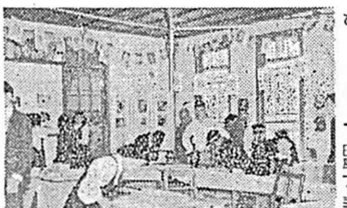
なお同刺繍科では六月十九、二十日の二日間にわたり新会員のための講習会を開催するので、希望者は裁縫道具、罫附用具持参で同日午前九時までに公民館へ集合のこと。会費無料。

牛ドロに注意

久しく無難であつた牛ドロが又もや出没しはじめた。去る三日夜から四日の朝にかけての間に岩倉区藤田際敏さん方の牛小屋につないであつた牡牛一頭（時価三万円）が何者かによつて盗まれた事件があり、警察当局では目下警察犬をかり出し犯人捜査に乗り出すこととなつたが、一般飼育者でも昨年末よりヒンピンと起る牛の盗難事件に備え厳重に警戒せられるよう強くのぞまれる。

シヤギリ・防犯展で賑う　名物十七夜祭

阿知須名物十七夜祭は前日までの大雨、また二十九日の当日は雨は止んだものの風が強く出足は頗る懸念されていたが午後になつて天候も回復し、あちら、こちらからの祭り客が押し寄せ、恵比須神社附近のメインストリートは一時、文字通り足の踏場もない程混雑賑わつた。今年は例年余興として出動る引き山車に代り小古郷の大神楽、その他同好者によるシヤギリ隊やヒナ箱をヒツクリ返したような可愛い踊り子達が混雑の街をねり歩き紙吹雪タツプリ振りまいて観客達を喜ばした。またこの日町役場会議場で開かれた吉敷南地区署主催の防犯展、阿小校講堂における阿知須学園生徒の洋裁作品展や佐光先生を中心とした花道展などは何れも人気を博し終日押すな押すなの大盛況を呈した。（写真は防犯展会場とオカゲン踊）



学園だより

☆町教委では先月二名欠員を生じた阿小校教官の補充に努力中であつたが、六年担任教師として井関小学校に勤務中の上田京子先生（本町飛石在住）を六月四日付で発令した（非小校学級減による）なおあと一名の補充についても近く採用の運び。

上田京子（県立田部高女を経て宮崎女子師範二部卒、経験年数十九年）

☆阿小校PTA役員の改選により新役員が選出されたが決定した主な役員の顔ぶれは次の通り。

会長山本忠男　副会長中尾定雄　監査江本房子　総務岡本校長　監査磯山強作、原田房雄、野村弥平　書記片岡登亀一、西村教頭、会計砂村好恵、長尾教官　修養部長藤田辰一　芸能部長大浜勇　生活部長梅田綾雄　保体部長藤村忠明　施設部長工藤靖夫

☆阿小校西村教頭、大田（繁）、西中、原田の四教官並びに井小校岡本、秋里、伊藤（栄）、辻野の四教官は八日間の予定で阪神並びに東京都内の各小学校を視察のため五日出発、今後の教育指導にプラス出来るものと期待がかけられている。

☆先月完工の阿中校特別教室のうち図工、理科室の室内整備を約三十万円を投じて施すこととなつたが、今月末業者を集め入札開封ののち着工の予定。

☆町立阿知須学園では、四月入学の速成科第一期の課程を終え六月末修了式を挙行することとなつたが、引続き近く第二期生を募集することになつており、募集要項については来月号町広報で詳細発表の予定。

町広報発刊二十號記念品贈呈

町広報委員会では町広報二十号発行のよろこびに愛読者の皆さんに次の要領に依り記念品（広報綴り用の表紙一組）を差し上げることになりましたので何卒御受領下さい。

◇資格　創刊号より二十号まで保存の方
◇残念賞　右のうち二枚まで不足の方には記念タオルを進呈
◇方法及び期限　有資格者は六月末日まで広報係（社会係内）へ御持参提示の上、記念品を御受取りのこと
◇備考　今後も取刊の都度何かの記念品を進呈することになりますので、どなた様も今後発刊される町広報の御保存方を御願いします。

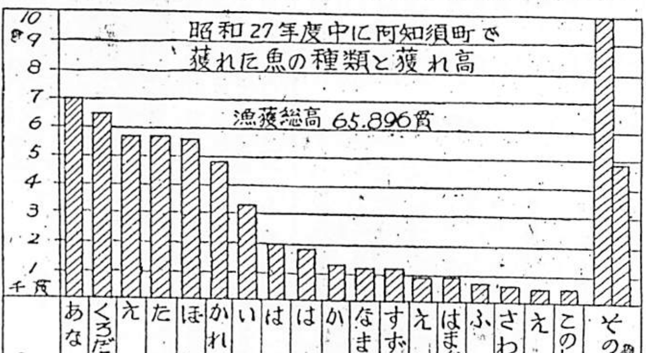
今月は町民税第一期分です

納期六月三十日限りをお忘れなく

28年度分所得税額が前年度に比べて少いと思われる方は事前に申請すれば承認されます。

ことしの所得税を昨年より引下げるには

◇勿論相当の理由がなければなりませんが減額希望の方は6月15日までに税務署長宛に申請書を提出して下さい。
◇申告を怠つた者には一切減少は認められません。
◇申請用紙は町役場税務課にあり、詳細お尋ね下さい。



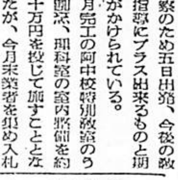
購入図書紹介

ものしり事典　日本篇一、アジア九カ国・和田斉・西洋と日本・笠新太郎、常識憲法学　関口泰、明日の経済　土屋清、世界の外交ABC　福井文雄、教育復興　伊藤昇、図解日本の経済　森田優三、結婚式と結婚の心得　岡良平、東洋金言集　島影盟、新しい土壌・肥料の百科　栗原東洋、新しい草花・花木栽培百科辞典　秋月浩、新生日本外交百年史　山田宗吉、ほんとうの暮し方　岩田野造、料理（春夏の巻）石川数雄、新編忠臣蔵　吉川英治、人間西郷隆盛一・二巻　杉山徹、富士に立つ影一・二・三・四・五・六巻　白井喬二、大地一・二巻　パールバック、生命の火花一・二巻　レマルク、漂泊の人　ヘルマンヘッセ、三国志二・三・四・五・六巻　吉川英治　人間の歴史　安田徳太郎、大地の闘　諏訪三郎、真実への道　友松円諦、再婚者　川端康成、親鸞下巻、吉川英治、新平家物語十一巻　吉川英治、新女苑六月号、婦人公論六月号、文芸春秋六月号

◇◇お知らせ◇◇

図書整理中のため六月十日から三十日まで図書貸出しを停止します但し館内閲覧は従前通り実施しておりますので御利用下さい。なお貸出図書未返納の方は至急事務局まで御返し下さい。

よろこびとかなしみ



◇出生の部

父	続柄	出生児	部落
江本安夫	二女	文子	砂一
宇津巻一男	長女	充子	河内
細田定人	二男	博	小東
上野孝志	二男	博	岩辻
細田正孝	長女	美津枝	砂二
沢見頼芳	二男	芳正	恵比須
田辺計介	長男	千代一	岩西
松崎茂	二男	了	浜設
吉村良夫	二男	正美	飛石
渡辺春雄	四女	里子	寺河内
椙本三治	長女	靖子	小南

◇婚姻の部

夫	妻	部落
細田信義	田中芳江	向井関
本永博正	加戸美子	浜設
岡藤計一	藤本キクエ	秋川
林孝年	山本美代子	赤迫
竹本広一	中村道恵	浜
中戸秋吉	中戸澄江	向井関
吉本智之	吉本ツタエ	丑西
林寿雄	細谷フサコ	築地
広田繁	佐藤文子	井関
渡辺恭治	前野和子	飛石
片岡純一	三輪文代	寺河内
前田柳義	背戸山民子	丑北
田辺恭雄	伊藤敦子	丑北
石川二郎	大空斉代	西条
野中猛司	吉村露路	西条
林昇	落合千鶴子	野口
吉田安夫	中谷八重子	築地
臼井昭祐	吉富沢子	北祝
文屋浩治	国重節子	浜

◇死亡の部

死亡者	年令	月日	部落
野村儀助	七三	5・13	寺河内
梶広良市	七二	5・20	東
吉武カツ子	六	5・24	恵比須
中野ハツミ	[illegible]	5・23	中村

編集後記

▲町民の皆様の絶大なる御支援、御指導のお蔭で町広報もついに二十号を重ねることの出来ましたことを皆様と共に大変喜んでいる次第で御座います▲平素の御恩に報いるため、また今後なお一層の御愛読賜る意味あいで記念品（表紙）を差し上げることになりましたので御笑納下さい▲今後も取刊の記念に何かと計画を考えていますが、皆様におかれても何かいい御気付きの点があれば御教示賜ると幸甚に存じます▲と同時に町政町広報に疑問または御希望なり御意見があればドシドシ遠慮なくおつしやつて頂きますよう重ねて申し上げます。（O生）